

第59回

# 全国学童保育 研究集会in岡山

～つなぐれあっ晴れ！学童保育～



全国研広報チームニュース No.8 2024.11.16発行  
今日は全国研当日です！

いよいよ、本日開催です！

速報値 11月5日現在、確認している参加者数は

全国から **4728名**

参加申し込みに向けて、地域での活発なお声掛けにご協力いただきありがとうございました！

全体会 1日目：11月16日（土）

12：30～16：30

- 全体会現地会場：倉敷市民会館（岡山県倉敷市）
- オンライン配信・後日配信あり

分科会 2日目：11月17日（日）

終日の分科会 10：00～16：00

AMの分科会 10：00～12：30

PMの分科会 13：30～16：00

- 分科会により、会場開催とオンライン開催にわけて実施
- 分科会現地会場：川崎医療福祉大学（岡山県倉敷市）  
受付開始9：00～
- オンラインの分科会は、開始1時間前から入室できます。  
分科会（終日、AM、PM）によって開始時刻が異なります。  
参加者名の確認を行ったうえで入室を許可します。  
早めの入室にご協力ください。



全体会は、後日、オンデマンド配信があります。下記期間中、全体会の開会行事から閉会までのオンデマンド配信を行います。くわしくは討議資料をごらんください。

配信期間：12月1日（日）10：00～  
12月23日（月）10：00まで

● 全体会当日のお問い合わせ先は全国学童保育連絡協議会 03-3813-0477

● 分科会当日のお問い合わせ先は配信担当の地域連絡協議会（討議資料に同封された資料に記載されている連絡先をお願いします）

## ★みんなで集い、大いに学びあいましょう

### 全国学童保育連絡協議会・会長 戸塚 丈夫

第59回全国研は、11年ぶりに岡山県に会場を設ける（参加枠約2000人）とともに、オンライン併用で開催します。

いまや「社会インフラ」を支える大きな役割を担っている学童保育ですが、まだまだ不十分な面が多くあります。待機児童が多いこと、子どもの人数がたいへん多い大規模な学童保育が多いこと、そして指導員が厳しい労働環境で働いていることなど、課題が多くあります。

そんな学童保育を、保護者の立場から見た場合、指導員の立場から見た場合、運営者から見た場合、それぞれ視点は異なります。でも私は、めざしている学童保育は同じだと思っています。同じ目的地向かうためには、学童保育とそれを取り巻く社会の現状を知り、学ぶ必要があります。よりよい学童保育、そして未来のために、全国各地から集まる仲間と語りあい、みんなで改善に取り組んでいこうではありませんか。

記念講演では、川地亜弥子先生（神戸大学）に「子どもも大人も育つ学童保育——思いっきりあそび、人生の土台をつくる」と題してお話しいただきます。さまざまな分科会も準備していますので、みんなで集い、大いに学びあいましょう。

## 全国研に向けて メッセージ集



## ★いよいよ全国研！

### リアルに倉敷に集おう！オンラインでもつながろう！

### 岡山県学童保育連絡協議会・会長 糸山 智栄

11年前の2013年10月、第48回全国学童保育研究集会在、岡山県岡山市を会場に開催されました。この年の『ユーキャン新語・流行語大賞』は「今でしょ!」「お・も・て・な・し」「じょじょじょ」「倍返し」……。当時の空気を思い出していただけるでしょうか。

第48回全国研の1日目（全体会）は雨で、夜の交流会時には土砂降り。2日目（分科会）は一変してカンカン照りとなり、蒸し暑い……。過酷な2日間であったことを思い出します。



この年、全国の学童保育の入所児童数は88万8,753人。11年経ったいま、140万4,030人にもなりました（2023年5月1日現在。全国学童保育連絡協議会調査）。

岡山県学童保育連絡協議会では、第48回全国研の終了時に得た、「『集会が成功してよかった』で終わらせてはいけません。全国研の向こう側になにを行うかが重要である」（当時の実行委員長・住野好久先生）という言葉も力に、「保育の質」の向上に取り組んできました。コロナ禍でも、いち早く「オンライン化」に取り組み、学びつづけ、ネットワークを広げてきました。

そして2024年、「『会場に集っての全国研』の復活をめざすとすれば、私たちがやるしかない!」と考え、開催地に立候補しました。共に倉敷の地で学び、交流しましょう。最近ではメディアの露出も多く、岡山弁もメジャーに!? ぜひ2日間の「岡山弁ワールド」をお楽しみください。

## ★よりよい学童保育に向け、一人ひとりが1歩を踏み出す、連携・協働を生み出す集会に

### 第59回全国研in岡山 実行委員長 直島 克樹（川崎医療福祉大学）

近年、こどもたちの置かれている環境の変化は目覚ましく、学童保育はその重要性がますます高まってきました。学童保育を取り巻く社会の言説からは、「保護者が安心して働けるように」といったことが多く見られ、その視点が重要であることはまちがいありません。一方で、こどもの成長を地域で育み、学童期にあるこどもの遊びや学びなどを地域で守り、保障していくという、「こどもの権利」を軸とした視点も重要です。家庭、学校と並んだ第三の居場所の一つとして、こどもたちの声を社会に届け、こどもたちを地域で支えていくことが求められていると考えねばならないでしょう。

また、教育格差や体験格差などが深刻さを増すなかで、学童保育はそのような課題に対して取り組んでいく地域の「公共財」の一つにならなければならないと考えられます。地域全体でこどもの権利を守っていく際の拠点の一つとなることが求められます。それゆえ、そこで活動する関係者には、さまざまな専門性が求められることとなります。多様な機関等との連携を図ることも、さらに強く推進していかねばならないでしょう。

今後、学童保育を必要とするすべてのこどもたちが利用できるような環境整備に向けての働きかけも重要となってきてでしょう。待機児童の問題などは子どもの権利が阻害されている状況であり、強く社会に対峙し、改善に向けてのアクションを広げていくことが関係者には求められます。そのためには、学童保育に携わる者同士の横の連携、地域の人々との連携・協力も大切に、より大きな動きをつくっていかねばなりません。本研究集会在がそういった動きの機運をさらに高める大会となることを願っております。



## ★「つながれあっ晴れ学童保育」この先の10年に向けて

### 倉敷市学童保育連絡協議会・会長 楠木 裕樹

第59回全国研in岡山が、開催されるにあたり、開催地の倉敷市学童保育連絡協議会として、心より歓迎の意を申し上げます。

2013年に岡山市で開催された全国研から11年。この間、県内では職員の処遇改善が進み、作業療法士連携が導入され、インクルージョンの考え方が少しずつ普及されるようになりました。保育施設もプレハブから木造施設が導入されるようになっていきます。

2018年7月の西日本豪雨災害で被災した倉敷市真備町の学童保育では、全国各地の仲間から、指導員の派遣や物心両面の支援をいただきました。

学童保育のこうした発展の原動力は、全国各地で学童保育関係者が、日々、共に学童保育での生活をつくり、つながっているからだと考えます。「つながれあっ晴れ学童保育」。今回の集会で得た力をもとに、学童保育の発展に向けて、この先の10年を創造しましょう。





岡山現地実行委員会からのお知らせとお願いです。

現地スタッフは  
シャインマスカット色  
のTシャツを  
着とるから。  
話しかけて  
岡山弁を  
聞いてえよ。



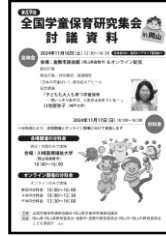
### ①本、買ってえよ。

#### ◆記念講演

川地亜弥子先生の書籍『子どもとつくるわくわく実践—ねがいひろがる教育・保育・療育』は、全国連協書店にて販売しています。



詳しくは  
討議資料の後半に



16日(土) 倉敷市民会館ロビー(1階・2階)  
17日(日) 川崎医療福祉大学2階ロビー

マスタは  
岡山発祥  
なんよ。

当日、出店  
する書店

ミナミヤンマ・クラブ、ひとなる書房、ニホン・ミック

中央法規出版株式会社、太郎次郎社エディタス、子どもの未来社

クリエイツかもがわ、クマノミ出版、金の星社、企画・制作Art.31、かもがわ出版、学童保育ラボ、いかだ社  
全国連協、愛知連協、京都連協、東京都連協

### ②交流会は食事なしじゃからな。

札幌市連協、岡山県連協

16日(土) 倉敷市民会館大会議室(2階)

ホールからの早めの退出をお願いします。2階の大会議室で交流会を行います。が、食事は出ませんので、ご了解の上、ご参加ください。

第1部のワークショップが始まるまでの間、もぐもぐタイムで、お茶とお菓子をお楽しみください。

16:30 開場 **もぐもぐタイム**

17:30 全体会の感動を分かち合う

**トークフォークダンス**

(対話のワークショップ)

●佐賀県放課後児童クラブ連絡会

18:30 参加者交流・**アピールタイム**

19:30 閉会(予定)

食事は、その後、倉敷のまちで。

参加費  
1000円

はよきてよ。  
2階で  
待っとるで。

### ③弁当販売に協力してえよお。

17日(日) 川崎医療福祉大学2階ロビー

申込時のアンケートにご協力いただき  
ありがとうございました。  
希望数+αのお弁当を用意しています。

#### ①1000円お茶付き弁当を

まずは、**買ってください。**

岡山名物 ばら寿司 えびめし  
デミカツ丼風弁当、幕の内弁当など)  
②学内コンビニに、昼時だけ営業を依頼しています。



ばら寿司



えびめし



♡福岡へ♡

きんしゃい!!  
まっとるばーい

来年! 第60回全国研は福岡にて!!

2025年10月25日(土)・26日(日)

全体会: 福岡国際センター

分科会: 福岡大学

福岡県学童保育連絡協議会会長 吉岡美保  
「ただいま〜」「おかえり〜」からはじまる放課後のおうち! 学童保育。子どもひとり一人いろんな思いの「ただいま〜」を受けとめ、一人ひとりが「私が私らしくあっている場、であるために、学童保育に子どもを託し、一生懸命子育てをしている保護者の方々、そして学童保育で働くすべての指導員の方々、ここに集い、「子どもを真ん中に、いろんな語りあいを楽しみますか?」



### 川崎医療福祉大学のミラクル。

受付を通ると、そこは2階。  
階段を上ったつもりがなくても、  
2階です。渡り廊下のその先は…?



### ④岡山SNSは動いとるから。



取材協力  
お願いします



充実した2日間をお過ごしください。

# 全国学童保育研究集会 開催地・記念講演・講師一覧

回数	開催地	年	参加者数	記念講演タイトル	記念講演者
第1回	東京	1964	30	● 金沢嘉市 (教育評論家)	
第2回	東京	1967	106	子どもとその未来 ● 小松福三 (和光学園幼児部)	
第3回	東京	1968	126	学童保育における生活指導 ● 城丸章夫 (千葉大学)	
第4回	東京	1969	285	学童保育の未来像——役割とあるべき姿を探る ● 戸内健夫 (愛知大学)	
第5回	愛知	1970	450	70年代における学童保育の役割と制度化の方向 ● 浦辺 史 (日本福祉大学)	
第6回	東京	1971	600	シンポジウム「子どもにとって学童保育とはなにか」 ● シンポジウム	
第7回	京都	1972	900	子どもの発達と学童保育 ● 田中昌人 (京都大学)	
第8回	東京	1973	990	日本の大人と子ども ● 早乙女勝元 (作家)	
第9回	大阪	1974	1400	どういふ子どもを育てるか ● 丸木政臣 (和光学園)	
第10回	東京	1975	1700	どぶ川学級の実践を通して ● 須長茂夫 (作家)	
第11回	奈良	1976	1300	子どもと、遊びのたしかめなおし ● 北川幸比古 (児童文学者)	
第12回	愛知 盛岡会場	1977	1600 600	幼児期から学童期へ——こころとからだの発達 ● 近藤薫樹 (日本福祉大学)	6月4日、5日開催
第13回	埼玉	1978	2000	共働きと子育て ● 永畑道子 (作家)	
第14回	京都	1979	3000	子どものからだと心の現状 ● 正木健雄 (日本体育大学)	
第15回	神奈川	1980	4000	成長する親たちだけが子どもたちを成長させることができる ● 藤岡貞彦 (一橋大学)	
第16回	三重	1981	3000	子どもの心に人生の節をみる——学童期の思い ● 秋葉英則 (大阪教育大学)	
第17回	東京	1982	4642	人間の教育を求めて ● 大田 堯 (都留文科大学)	
第18回	大阪	1983	3391	街づくりと学童保育——平和と自治をもとめて ● 宮本憲一 (大阪市立大学)	
第19回	岐阜	1984	3100	国民のための教育をめざす私たちがの子育て——「健全育成」政策と学童保育の課題 ● 高浜介二 (大阪教育大学)	
第20回	埼玉	1985	5221	20回記念で3人から ● 山家和子・鷲谷善教・大塚達男	
第21回	兵庫	1986	4346	地上にいっぱい鉄腕アトムを ● 木津川 計 (立命館大学)	
第22回	愛知	1987	4590	かがやけ子どもたち——発達・地域・平和 ● 川合 章 (中京大学)	
第23回	千葉	1988	4737	働くこと、育てること、生きること ● 二宮厚美 (大阪外国語大学)	
第24回	広島	1989	3749	暮らしの視点——こだわりつつしなやかに ● 寿岳章子 (国語学者)	
第25回	神奈川	1990	5340	子どもたちの今日と明日——子どもの権利と大人の責任 ● 牧 柁名 (教育学者)	
第26回	京都	1991	4711	子ども発達と社会の課題 ● 山住正己 (東京都立大学)	
第27回	東京	1992	5146	子ども発見とかかわり合うことの大切さを ● 津田八洲男 (青森・小学校教諭)	
第28回	大阪	1993	5416	ヒトが人になるとは——これからの子育てを考える ● 大田 堯 (日本子どもを守る会会長)	
第29回	埼玉	1994	5754	自立をはぐくむ愛のちから——「子どもの権利条約」時代とわたしたち ● 尾木直樹 (民主教育研究所)	
第30回	滋賀 京都・大阪	1995	4247	子どもの未来を輝くものに——私たちがの子育てと憲法 ● 森 英樹 (名古屋大学)	
第31回	愛知	1996	4485	いま子育てを考える——「いじめ」不登校が問いかけていること ● 高垣忠一郎 (立命館大学)	
第32回	千葉	1997	4320	龍平とともに——母として、人間として ● 川田悦子 (東京HIV訴訟原告団)	
第33回	広島	1998	4247	あるがままの子どもたちからの出発 ● 村山士郎 (大東文化大学)	
第34回	群馬	1999	3801	子どもの心の声を聴く——子育てのための新しい共同へ ● 田中孝彦 (北海道大学)	
第35回	兵庫	2000	4898	自分が大好き!と言える子——子どもたちの希望を育む社会と子育て ● 汐見稔幸 (東京大学)	
第36回	静岡	2001	3880	子どもが安心できる人間関係を ● 茂木俊彦 (東京都立大学)	
第37回	京都	2002	4381	人を育てる文化 人が創る文化 ● 木津川 計 (立命館大学)	
第38回	栃木	2003	4005	つながり・ぬくもり・あこがれ——地域・学童保育発の子育て論を ● 増山 均 (早稲田大学)	
第39回	大阪	2004	5674	子どもたちの笑顔あふれる社会に——「100人村」と「日本国憲法」から考えたこと ● 池田香代子 (翻訳家)	
第40回	神奈川	2005	4989	夕方の子どもの居場所 ● 重松 清 (作家)	
第41回	愛知	2006	4452	語ること、聴きとられること——子どもと大人がともに生きる道 ● 横湯園子 (中央大学・臨床心理士)	
第42回	東京	2007	4977	幸せになるための学童保育 ● 松崎運之助 (元・夜間中学教師)	
第43回	北海道	2008	2793	希望をつむぐ子育ての絆——物語る言葉を生きる力に ● 庄井良信 (北海道教育大学大学院)	
第44回	滋賀	2009	4619	子どもの居場所と子育て——子ども・親・指導員のつながり方 ● 春日井敏之 (立命館大学)	
第45回	千葉	2010	4259	子どもの育ちと親の暮らしを支える学童保育の仕事——子ども理解を深めあう新しい共同へ ● 田中孝彦 (武庫川女子大学大学院)	
第46回	石川	2011	3725	自然・人との豊かな関係性がはぐくむ希望 ● 金森俊朗 (北陸学院大学)	
第47回	埼玉	2012	5798	子どもへの理解を深め、育ち合いの学童保育をめざして ● 広木克行 (大阪千代田短期大学)	
第48回	岡山	2013	4262	子ども叱るな来た路じゃ、年寄り笑うな往く路じゃ——学童保育はみんなの“還る家” ● 富田富士也 (教育・心理カウンセラー)	
第49回	岩手	2014	4037	「いのち」をケアし、育むということ——学童保育がつむぐ未来への希望 ● 庄井良信 (北海道教育大学)	
第50回	大阪	2015	5558	人が人のなかで生きていくということ——子どもも大人も生きやすい社会とは ● 中西新太郎 (横浜市立大学名誉教授)	
第51回	愛知	2016	4707	子どもの発達と大人の役割 ● 田丸敏高 (福山市立大学)	
第52回	兵庫	2017	4030	小学生のこころのヒ・ミ・ツ ● 近藤直子 (日本福祉大学名誉教授)	
第53回	神奈川	2018	4588	子ども時代は二度と来ない——「子供」が「こども」でいられるための五つの権利 ● 増山 均 (早稲田大学名誉教授)	
第54回	京都	2019	3708	働きながらの子育て——子どもが自分で育つ力を育む ● 池添 素 (NPO法人福祉広場)	
第55回	山形	2020		「新型コロナウイルス感染症」の影響で中止	
第56回	オンライン	2021	4612	学童保育の歴史から学び、未来をひらく——前例のない課題に立ち向かう ● 石原剛志 (静岡大学)	
第57回	オンライン	2022	4575	紛争地、被災地に生きる子どもたち——取材から見えてきたこと ● 安田菜津紀 (フォトジャーナリスト)	
第58回	オンライン 東京・神奈川会場	2023	4045	どの子も受けとめる学童保育をめざして ● 丸山啓史 (京都教育大学)	
第59回	岡山 オンライン	2024		子どもも大人も育つ学童保育——思いっきりあそび、人生の土台をつくる ● 川地亜弥子 (神戸大学)	